

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究（Graduation Thesis）		
ナンバリングコード	J41701	大分類 / 難易度 科目分野	機械電気工学科 専門科目 / 総合レベル 研究キャリア
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	J170405	クラス名	稲川研究室
担当教員名	稲川 直裕		
履修上の注意、 履修条件	■2-3回/週程度の研究活動打ち合わせを実施します。アルバイト等は相談して下さい。休日は実施 予定無 ■研究内容に興味を持ち熱心に取り組む意欲ある人の配属希望をお待ちしています。 ■研究活動では研究室グループの積極的な参加、協力、コミュニケーションが必要です。 ■これまで修得した技術の集大成として、本研究室で社会課題を工学で次々に解決できる能力を 身につけていきます。この為には、技術者としての人間性も大切です。仕事ができる社会人を目指		
教科書	■適宜指示します		
参考文献及び指定図書	■適宜指示します		
関連科目	基礎機械電気工学　プログラミング基礎　機械加工実習　メカトロニクス　メカトロニクス応用　機械 電気計測		

○基本情報		
授業の目的	本科目は「数理・データサイエンス」に該当します。 ■本研究室では、メカトロニクス・IoT技術を応用した観測ロボット、無人観測システム、次世代工作 機械システム等のソフトウェア・ハードウェアの両方を研究開発し、社会課題を次々に解決・還元す る事を目的として実践的な活動を行います。また、単に購入品を使うのではなく、必要な物を3D-CAD で設計したり、3Dプリンタで出力したり、レーザー加工機で切断したり、工作機械で加工したり、3D電 子回路CAD、マイクロコンピュータシミュレータを活用した上で電子回路を製作したり、自分達の手で作り上げ る「手作り・ものづくりの大切さ」を学ぶ事、問題解決能力を楽しく身に着ける事を目的としていま す。特に防災観測・医療への応用・工作機械システム・3D計測技術に力を入れています。機械電気 工学科DP「ディプロマ・ポリシー」に基づき、技術者に求められる関心・意欲・態度を兼ね備えた上で 思考・判断・創造力の向上を目指します	
授業の概要	■様々な電子回路や精密部品を設計・自作・加工・組合せた独自の「ものづくり」を行います。こうし た考え方がいざという時に現場で使える実践技術となります。さらに、マイクロコンピュータ・電子制 御技術・プログラム等も駆使する事で、防災・医療応用・工作機械システム・土木計測技術応用等、社 会の役に立つ機能開発に取組ます。ハードウェアだけでなくソフトウェアも使いこなす事が理想です。適正 を考慮した上でテーマ決定し、取り組みます。 ■はんだごて、電子回路ボード、3D-CAD 3Dプリンタ　レーザー加工機　観測ロボット、マイクロコンピュータ、 工作機械など色々な機器を楽しく使います ■卒業研究中間発表、卒業研究最終発表、卒業研究論文提出を行います。 ■発表PPTは10-20P程度　卒業論文は10-30P程度（研究テーマによって前後します） ■研究打ち合わせ・週2-3回程度	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー　Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員に よる授業科目	・実務経験者名：稲川直裕 ・実務経験のある教員が行う教育の内容：センサ、マイクロコンピュータ応用、メカトロニクス、システ ム構成を網羅した実践的技術に関する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試 験・中間確	提出物 (レポート・ 作品等)	無形成果 (発表・そ の他)
【関心・意欲・態度】	■毎日、研究に取り組む事が出来る。 ■自主的に考えて計画し行動することができる。 ■エンジニアとしての心を修得し、実践する事。		20点	20点
【知識・理解】	■研究に関連する専門的知識の修得。		10点	10点
【技能・表現・ コミュニケーション】	■自分の意見を論理立てて積極的に説明する能力、パワー ポイントを用いて、技術的視点で纏め、その発表を通じた技 術発表力、コミュニケーション力の習得。		10点	10点
【思考・判断・創造】	■研究中に習得した内容だけでなく、自ら積極的な発想・考 察を追加して纏める能力、関連技術を積極的に使ってみよう というエンジニアの意識を持ち、自ら実施し、諦めずに完結さ せる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
■研究を実施し、PPT発表および卒業論文概要、卒業論文を完結し、提出 ■社会人技師術者として相応しい取組の姿勢を目指します ■達成水準の目安 S:非常に優れている　A:優れている　B:良い　C:最低限の水準を満たす　E:不合格 ・フィードバックについては、卒業研究内で解説及び教員より適宜対応します	

○その他	
■過去の研究開発テーマ紹介（一部） ・無人観測ロボットに関する研究開発（防災観測・社会インフラ観測等） ・オリジナル3Dプリンタを用いた試作研究 ・Racing KartとEV化に関する研究開発（時速100km/hを超える走行が可能なレーシングカートの走行実験） ・レーザ距離測定機に関する研究開発 ・IoTシステムに関する研究開発 ・マイクロコンピュータの医療用機器応用に関する研究開発 ・農業被害対策IoT検知システムの開発 ・農業被害対策システムの試作開発（原木栽培シタケ被害対策カミキリシ捕獲システム） ・水中観測ロボットに関する研究 ・3Dプリンタを活用した軽量走行台車の試作 ・その他マイクロコンピュータ・センサ技術応用に関する研究開発 ・3D-CADによる設計と3Dプリンタによる造型に関する条件出し ・3D-CADによる自動車デザインに関する提案と3Dプリンタによる試作 ・効果的スポーツトレーニングにおける運動指標表示機の試作 ・ダムの水位計測システム ・画像転送による防災用河川水位計測システム ・その他　実施したいテーマは相談して下さい	
・過去の研究室卒業生就職実績 研究室からの推薦で決まるケースもあります 詳細はお問い合わせ下さい 研究室卒業生就職先（一部紹介、順不同、敬称略） 光岡自動車　三菱電機プラントエンジニアリング　テクノコンサルタント　前田道路　新日本非破壊検査　NEXCOエンジニアリング　トローン開 発　九南 渡辺パイプ　型研精工(株)　吉川工業アールエフセミコン株式会社　大分県工業高等学校教諭（専修課程）　他	
・オープンラボ　随時実施しています。進路相談含めていつでもどうぞ 来室時は必ず教員に知らせて下さい 問い合わせ先　4218室	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究（Graduation Thesis） 稲川 直裕	授業コード	J170405
学修内容				
1. マイクロコンピュータ・電子回路・3DCAD・組立技術に関する基礎知識の修得 3D-CAD、電子回路CAD、マイクロコンピュータシミュレータなどを駆使して基礎技術を修得する				
予習	関連分野を学ぶに当たり、研究の意欲、意識を高めておく			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
2. マイクロコンピュータ・電子回路・3DCAD・組立技術に関する基礎知識の修得 3D-CAD、電子回路CAD、マイクロコンピュータシミュレータなどを駆使して基礎技術を修得する				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
3. 実験の段取り・準備 観測ロボットなどの実験準備、段取り確認を行う				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
4. 観測機実験① 製作途中でのシステムの動作実験を繰り返し実施する				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
5. 観測実験② 製作途中でのシステムの動作実験を繰り返し実施する				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
6. 機能改良 製作するロボット・システム・回路などの機能を検証し、改良を行う				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
7. 観測機実験、データ計測 製作したロボットの実験によりデータ収集を実施する				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間
8. 実験データ纏め、参考文献等調査 製作したロボットの実験により得られたデータをまとめ、参考文献調査を実施する				
予習	実験の事前準備と予備確認			約6時間
復習	研究室での学修について復習すること			約6時間

○授業計画		科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	J170405
		担当教員	稲川 直裕		
学修内容					
9. 卒業論文・発表資料まとめ					
卒業論文・発表資料のまとめを行う					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
10. 卒業論文・発表資料まとめ 観測機実験、データとりまとめ					
卒業論文・発表資料のまとめおよび観測機実験、データとりまとめを実施する					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
11. 卒業論文・発表資料まとめ①					
卒業論文・発表資料のまとめを行う					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
12. 卒業論文・発表資料まとめ②					
卒業論文・発表資料のまとめを行う					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
13. 卒業論文・発表資料まとめ③					
卒業論文・発表資料のまとめを行う					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
14. 卒業論文・発表資料まとめ④					
卒業論文・発表資料のまとめを行う					
予習	論文の内容記述と研究室打ち合わせ前の見直しを行う				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
15. 卒業研究発表後の提出資料纏め、研究内容引き継ぎ					
卒業研究発表後の提出資料纏め、研究内容引き継ぎを行う					
予習	論文や発表資料内容についての事前確認と質問事項などをまとめておく				約6時間
復習	研究室での学修について復習すること				約6時間
16. 予備					
予習					
復習					